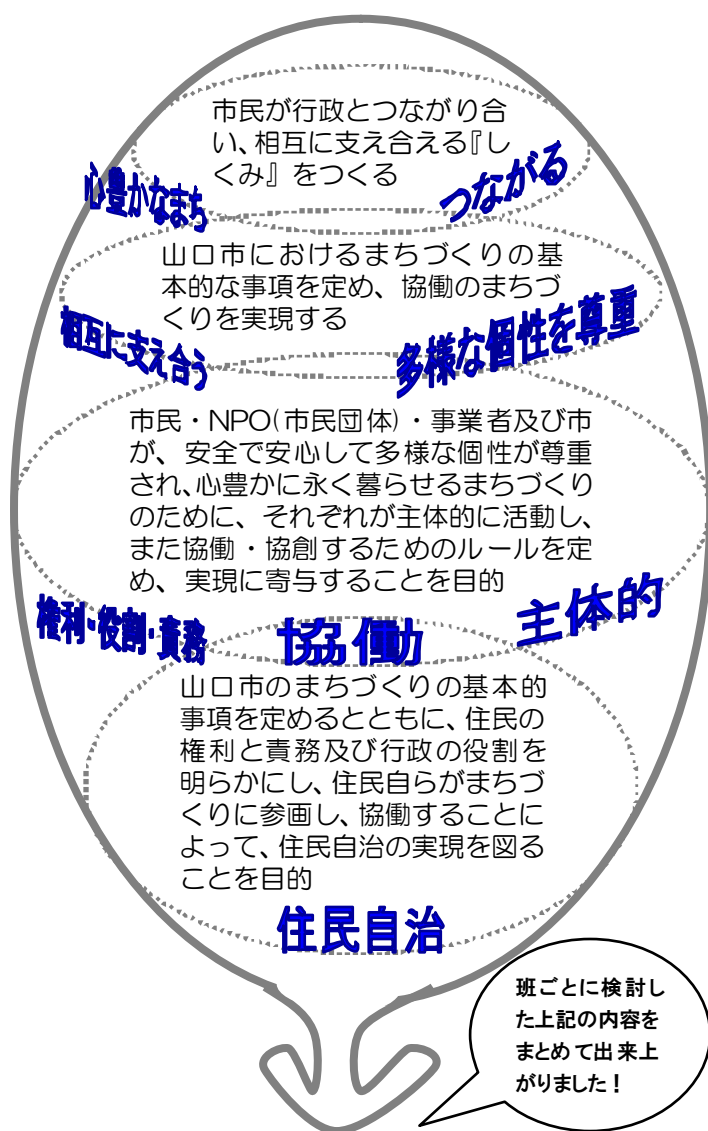


■ これまでの振り返り“条例の目的ができるまで”



目 的

この条例は、市民の参加と協働によるまちづくりを推進するための基本的な事項を定めるとともに、市民と市の役割を明らかにし、ともに考え協力し、行動することにより、個性豊かで活力のある自立した地域社会の実現を図ることを目的とする。

◆今後の予定

パブリックコメントやフォーラムの意見をもとに条例素案（最終案）を検討し、再度8月からのパブリックコメントへ。

第14回 6月30日（月）

○出てきた意見を共有し条例への反映を検討

第15回 7月 日（ ）

○14回で検討できなかった内容と中間素案までにじっくり検討できなかった項目について検討

第16回 7月 日（ ）

○条例全体のバランスを見ながら検討・最終案取りまとめ

条文作り、市民の関心を高め、実際に動くしくみを検討していくことも条例づくりの大切なポイントです！

山口市

協働のまちづくり

市民会議



第14回

☆日 時☆

平成20年6月30日（月）

18:30～21:00



☆場 所☆

山口総合支所第10・11会議室

☆テーマ☆

『条例素案づくり』⑨

フォーラム等の意見の共有・最終案の検討



☆本日のプログラム☆

- 18:30 あいさつ・プログラム説明
- 18:35 パブリックコメント、地域フォーラムでの意見の共有と検討のポイント
- 18:50 検討にあたっての資料提供（事務局より説明）
- 19:05 総務課文書担当からの気付き
- 19:25 休憩
- 19:30 グループワーク・発表
地域フォーラムごとのグループで条文を検討します
（次回も前半は引き続きグループワークを行います）
- 20:50 次回について
- 21:00 終了 アンケート記入



※会議の進行状況を見て、プログラムを変更することがあります。

条例素案(中間案)の地域フォーラムを終えて



5/24(土) 徳地会場

意見・質問から・・・

○地域を頑張ってよくしようと思っても、高齢化が進んでいる。難しいが徳地全体でまちづくりができる組織ができればよいのだが。
○まちづくりといっても地域でどう動けばよいのかわかりにくい。
○市民の意識改革は一自治会ではものすごく難しい。
○地域コミュニティの自主性や自立性を大事にして欲しい。大内文化を世界遺産にしようというところと徳地とは地域性がちがう。
○「市は支援することが出来る」とは無責任。協働ならまず市がするべき。

意見・質問から・・・

○市の責務について第13条・第16条で活動を支援『できる』とあるのはなぜなのか。『しなければいけない』ではないのか。
○まちづくり条例とタイトルはいいが、行政から押し付けられている印象がある。行政はもう面倒が見れないから、自分らでやれということか。
○この条例に個性があるのか？地域で影ながら頑張っている人にスポットがあたっていない。変わってならないものと変わらなければならないものがある。
○豊かなまちとは？
○まちづくりの範囲が広い、意識を持ってもらうにはどうするのか？行政が地域に入って意識付けの育成するべき。

地域全体の盛り上がりはまだまだだけれど、参加した人からは、地域主体のまちづくり絶対必要という意見があった。これから少しずつ、つながって広げていきたい！



班長の感想

意見・質問から・・・

○10条2項をもう少し踏み込めないか・・・地域で活動しようと思うと教育機関の問題が立ちはだかることもある。
○市議会の位置づけについてはどう協議されたのか。
○住民が直接参加する機会としての住民投票条例の制定などについては、どのように協議されたのか。
○この条例ができてまちがどう変わる？私たちは何をすべきなの？
○幅広い年齢の者が理解できるような内容であればいい。

6/1(日) 湯田会場



私自身、1年かけてもまだまだ条例を理解できていないのだから市民に浸透させるのは難しいし、時間がかかるといった。動く条例にしていくためにも協働推進プランに注目していきたい！



班長の感想



6/7(土) 名田島会場



班長の感想

「条例を作って何か変わるのか？」という質問が多くあったけれど、この条例はスタートライン。住民自治を認知してもらう第一歩としてフォーラムは貴重だった。